

「困ったなあ」

「答ええます」

佐々木知子の
法律相談



佐々木知子
ささき ともこ
弁護士
帝京大学法学部教授

Q 息子がとんでもない女に引かかってしまいました。

息子のことでご相談です。上の娘は結婚して幸せに暮らしています。

息子は4年前に大学を卒業して大手企業に就職し、あとは良い人を見つけて結婚してくれることを願っていました。ただ、おとなしい性格でずっと彼女もおらず、結婚できるかしらと案じていたほどです。

ところがすぐに翌年、会社の女性を連れてきて、結婚すると言うのです。子供ができて、もう5カ月だと。聞けば息子より八つ年上で、学歴も家族関係も息子はよく知らないのです。主人ともども憤然としましたが、子供を中絶できない以上、結婚

は認めざるを得ませんでした。

事情は分からないのですが父親はおらず、母親は正月に私たちの家に戻ってくるくらいで、住む家も知りません。二人は共働きを続け、嫁の母親は働いているからと、何かあると私が子供の面倒を見させられていました。

その嫁が、なんとこの春、性格の不一致で離婚してほしいと、息子に離婚届を突然渡してきたと言います。息子も訳が分

からず、夫も立ち会ったけれど

らちが明かず、そのうち耳に入ってきたことによると、嫁は以前から男関係がずいぶん派手で、今も会社の別の男性と付き合っているようなのです。息子もよりによってよくまあそんな女に引かかったものだ、怒りなどどうに通り越しています。離婚は仕方ないとしても、理由も分からないし、腹立ちが収まらないし、この先どうしたらよいのでしょうか？

A 相手には落とし前をきっちりつけてもらいましょう。

それはなんともひどい話ですね。そもそも家族も含め全く得体の知れない女性と縁ができ、家族が生まれてしまったこととなります。

職場のお局さまになるすんでのところで、大卒の若い男性の未経験に乗じて妊娠に持ち込み、しかもそれを中絶できない時まで秘密にしていたというのは、よく考えた話で、そこまでなら世の中にとあることかもしれません。ただ普通は、その後はちゃんとやっつけていくものです。幼児もいて、もともとの男癖が一向に直らないというのは、ある意味病気のかもしれないですね。同じ会社について、今度の男性も一体何を考えているのか。

過去も現在も洗えばきつといろいろ出てくるのでしようが、結婚前に調べるのはよいけれど、今更調べてもあまり意味のないことです。子供との縁は終生切れませんし。念のためにしる、簡単にできるので、父子関係の鑑定はしておいた方がよいでしょう。小さな子供がいて、しかも同じ会社に勤務して

いて、嫌になったからとすぐに離婚できると考えていることがおよそ信じられませんが、離婚理由ははっきりさせておくべきです。もしかしたら新しい男との間に子供ができたのかもしれない。何をどう考えているのか、われわれ常識のある人間にはおおよそ見当もつきません。

とにかく弁護士をつけて離婚調停を起こし、離婚理由を明らかにしてもらい、子供をこれからどう養育していくのか、具体的に話し合わないといけませんよね。とんだ災難ですが、息子さんに女性を見る目がなかったの

も、ご両親がそうした教育をしていなかったのも、つらいけれど向き合わなければならぬ現実です。今後会社に居づらくなって退職する羽目になるかもしれない、この際、慰謝料というか、相手には自分のした不始末をきちんと分かってもらい、きつくりと落とし前をつけてもらうべきでしょう。息子さんはまだ若いのだし、いずれ再婚するでしょうが、またつまらない女に引かからないよう、女性不信を引きずらないよう、現実に向き合っていきましょう。

離婚届